

区分レベル	I -A-1
学科専攻名	副学長、学務部長
記載者名	武分 様子

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）	ACT（改善）
I -A-1(1)	I -A-1(1)建学の精神は短期大学の教育理念・理想を明確に示している。 （計画）建学の精神に基づき、学校及び学科専攻の教育理念、教育目標、3つの教育理念を毎年点検する。	I -A-1(1)（実行）令和5年度も各部署で点検できた。	◎ I -A-1(1)（検証）令和5年度学生便覧	I -A-1(1)（改善）計画続行
I -A-1(2)	I -A-1(2)建学の精神は教育基本法等に基づいた公共性を有している。 （計画）教育基本法、私立学校法に基づき公共性を有するものか毎年点検する。	I -A-1(2)（実行）令和5年度も関係法令を確認し点検できた。	◎ I -A-1(2)（検証）令和5年度学生便覧	I -A-1(2)（改善）計画続行
I -A-1(3)	I -A-1(3)建学の精神を学内外に表明している。 （計画）毎年、学生便覧及び学校案内への記載、Webサイトの発信等をする。	I -A-1(3)（実行）令和5年度においても、学校の広報ツールを活用して建学の精神を表明できた。	◎ I -A-1(3)（検証）令和5年度学生便覧、学校案内、ホームページ	I -A-1(3)（改善）計画続行
I -A-1(4)	I -A-1(4)建学の精神を学内において共有している。 （計画）拡大教授会での共有化、授業、アセンブリーアワーを通じて、随時全体で確認することで共有化をはかる。	I -A-1(4)（実行）4月初会議、年間の宗教行事を通じて、建学の精神は確認できた。さらに令和5年度は、学長授業「美しく生きる」を教職員が聴講しさらに理解を深めることができた。	◎ I -A-1(4)（検証）令和5年度水曜行事予定、令和5年度初会議議事録、宗教行事画像、令和5年度感話集、授業「美しく生きる」聴講者名簿	I -A-1(4)（改善）計画に授業「美しく生きる」聴講を加えて続行
I -A-1(5)	I -A-1(5)建学の精神を定期的に確認している。 （計画）アセンブリーアワー、宗教行事の実施において、年間を通じて確認する。	I -A-1(5)（実行）アセンブリーアワーを年間計画に沿って実施、5月に釈尊降誕会、11月に報恩講、前期後期での学長授業の実施と教職員の聴講、東本願寺研修により、令和5年度を通じて建学の精神を確認できた。	◎ I -A-1(5)（検証）令和5年度水曜行事予定、令和5年度初会議議事録、宗教行事画像、令和5年度感話集、授業「美しく生きる」聴講者名簿	I -A-1(5)（改善）計画に授業「美しく生きる」聴講を加えて続行

区分レベル	I-A-2
学科専攻名	地域連携委員会
記載者名	新海 シズ

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）	ACT（改善）
I-A-2(1)	I-A-2 (1)地域・社会に向けた公開講座、生涯学習事業、正課授業の解放（リカレント教育を含む）等を実施している。 （計画）公開講座の計画・実施（40講座以上）。出前授業の計画・実施。正課授業の解放等の実施。	I-A-2 (1)（実行）公開講座 【R5】40講座実施。出前授業【R5】37回実施。【R5】「地域社会学」一部授業解放。専門実践給付制度を利用して学ぶ学生【R5】2名、高度長期人材育成コースの学生の受け入れ【R5】1年3名、2年8名介護福祉士実務者研修（通信制）、喀痰吸引等研修、管理栄養士国家試験対策講座2023、介護予防運動指導員養成講座を実施した。	◎ I-A-2 (1)（評価）公開講座は、目標とする40講座を計画し、実行することができた。本年度は、「飯田短期大学」男女共学スタートにあたり、本学園出身の小平奈緒氏の講演会を実施し、学生、教職員、地域の方200名を超える参加があった。 出前授業、ハローワークの制度を利用する学生の受け入れも行った。	I-A-2 (1)（改善）実行できていることを継続していく。
I-A-2(2)	I-A-2 (2)地域・社会の地方公共団体、企業（等）、教育機関及び文化団体等と協定を締結するなど連携している。 （計画）協定を結んでいる飯田市、高森町、泰阜村など、企業（等）、教育機関等との連携の継続。	I-A-2 (2)（実行）飯田市、高森町、泰阜村との協定を継続している。 9/11 本学と(公財)南信州・飯田産業センターと包括連携協定を締結した。 飯田市「いいレボ♡」に委嘱・任命された学生が活動した。 令和5年度、学輪IIDA「飯田学●大学」で教員2名が講座の講師を務め、学生2名が津田塾大学の学生と「大学生が飯田の未来を変える！」トークセッションを行った。 企業においては、飯田市のパン屋4店および菓子店とで産学連携商品開発を行った。	◎ I-A-2 (2)（評価）計画を実行できた。	I-A-2 (2)（改善）実行できていることを継続していく。
I-A-2(3)	I-A-2 (3)教職員及び学生がボランティア活動等を通じて地域・社会に貢献している。 （計画）教職員のボランティア活動等は、教務課に提出した教員調書で把握する。学生ボランティアの参加の現状は「学外活動届」にて、「地域貢献活動」単位取得者も教務課で把握する。	I-A-2 (3)（実行）学生のボランティア活動は、「地域貢献活動」として単位取得可能である。《学外活動届》は教務課に提出することとなっている。	◎ I-A-2 (3)（評価）能登半島地震のボランティアとして教員が活動した。	I-A-2 (3)（改善）教職員および学生がボランティア活動を通して地域・社会に貢献していくことを継続する。

区分レベル	I -B-1
学科専攻名	教務委員会
記載者名	奥井 現理

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）	ACT（改善）
I -B-1(1)	I -B-1 (1)（計画） 学科・専攻の教育目的・目標が建学の精神に基づき確立していることを確認する ※11月の委員会の点検時に合わせて確認	I -B-1 (1)（実行） 各学科専攻が教育目的・目標を見直し、建学の精神に基づき確立していることを確認し文言をわかりやすくすべきという方針が示され、かつAP・CP・DPの見直しを行ったうえで、令和六年度の見直しを見据え令和五年度は変更なしと結論付けた	◎ ・ ○ ・ △ 令和五年度三月の教授会において発表された新しい建学の精神を受けて、令和六年度の見直しを見据え令和五年度は変更なしとしたことを確認した	I -B-1 (1)（改善） 令和五年度三月の教授会において発表された新しい建学の精神を受けて、令和六年度中に、各学科専攻に教育目的・目標の見直しを行ったうえで学内の理解を深める機会をもつ。
I -B-1(2)	I -B-1 (2)（計画） 学科専攻課程の教育目的・目標が学内外に表明していることを確認済（令和2年認証評価）であり継続する ①学内：学生便覧 ②学外：本学Webサイト	I -B-1 (2)（実行） 学科専攻課程の教育目的・目標が学内外に表明されていること（①、②ともに）を継続している。	◎ ・ ○ ・ △ I -B-1 (2)（評価） 学科専攻課程の教育目的・目標が学内外に表明されていること（①、②ともに）をさらに確認し継続していることを確認した。	I -B-1 (2)（改善） 計画をさらに改めるという意味での改善点は特にないが、学外に表明することに向けて学内の理解を深める機会をもつ。
I -B-1(3)	I -B-1 (3)（計画） 学科・専攻課程の教育目的・目標に基づく人材養成が地域・社会の要請に込えているか定期的に点検していることを確認済（令和2年認証評価）であり継続する ※11月の委員会で各学科・専攻課程の教育目標・目的を点検する	I -B-1 (3)（実行） 学科・専攻課程の教育目的・目標に基づく人材養成が、地域・社会の要請に込えているとの定期的点検の確認を受けて、継続している。	◎ ・ ○ ・ △ I -B-1 (3)（評価） 学科・専攻課程の教育目的・目標に基づく人材養成が、地域・社会の要請に込えているとの定期的点検の確認を受けて、委員会ではそれらの目的目標を継続していることを確認した。	I -B-1 (3)（改善） 計画をさらに改めるという意味での改善点は特にないが、地域・社会の要請に込えているかどうかをより深く考えるために学内の理解を深める機会をもつ。

区分レベル	I -B-1
学科専攻名	生活科学
記載者名	三浦 弥生

	PLAN（計画）	DO（実行）		CHECK（検証）	ACT（改善）
I -B-1(1)	I -B-1 (1)（計画） ①建学の精神に基づき定めていることを確認済 （令和2年認証評価より継続：「家政学を基盤とした教育目的『生活主体としてうつくしく生きることのできる人を養成します』を追加」） ②専攻名変更に伴う文言等の見直しを行う	I -B-1 (1)（実行） ①継続実施 ②専攻名変更に伴い文言を見直し（「家政学」を「生活科学」と変更）	◎	I -B-1 (1)（評価） ①課題なく継続 ②課題なく継続	I -B-1 (1)（改善） ①継続 ②継続
I -B-1(2)	I -B-1 (2)（計画） ①教育目的・目標の学内表明：専攻用の「学修成果ノート」を学生に配布し、入学時オリエンテーション及び前・後期にシラバスに沿って学生に説明する（令和2年認証評価より継続） ②教育目的・目標の学外表明：本学Webサイトに掲示（令和2年認証評価より継続）	I -B-1 (2)（実行） ①継続実施：シラバス通り実施 ②継続実施	◎	I -B-1 (2)（評価） ①課題なく継続 ②課題なく継続	I -B-1 (2)（改善） ①継続 ②継続
I -B-1(3)	I -B-1 (3)（計画） 専攻会(slack)で教育目的・目標の点検を11月までに行い教務委員会に提出する（令和2年認証評価より継続）	I -B-1 (3)（実行） 専攻会はslackチームからteamsチーム「生活科学専攻教員チーム」での実施に変更 11月までに専攻会(teams)への意見はないため、教務委員会に提出する変更もなかった	○	I -B-1 (3)（評価） 教育目的・目標の概要について、専攻教員間の知識・認識の向上が必要である	I -B-1 (3)（改善） 専攻会(teams)で話題とする

区分レベル	I -B-1
学科専攻名	介護福祉専攻
記載者名	太和田 雅美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）	ACT（改善）
I -B-1(1)	I -B-1 (1)（計画） 学科・専攻課程の教育目的・目標を建学の精神に基づき確立しているか点検する。 専攻会によって、専攻課程の教育目的・目標を建学の精神に基づいているか確認していく。	I -B-1 (1)（実行） 専攻会によって、専攻課程の教育目的・目標を建学の精神に基づいているか確認した。	◎ I -B-1 (1)	I -B-1 (1)（改善） 継続
I -B-1(2)	I -B-1 (2)（計画）学科・専攻課程の教育目的・目標を学内外に表明しているか点検する。 学校案内、学生便覧で学科・専攻課程の教育目的・目標を学内外に表明していく。	I -B-1 (2)（実行） 学校案内、学生便覧で学科・専攻課程の教育目的・目標を学内外に表明した。	◎ I -B-1 (2)	I -B-1 (2)（改善） 継続
I -B-1(3)	I -B-1 (3)（計画）学科・専攻課程の教育目的・目標に基づく人材養成が地域・社会の要請に込えているか定期的に点検している。 卒業時の到達目標に対する評価を数値化して検証していく。	I -B-1 (3)（実行） 卒業時の到達目標に対する評価を数値化して検証した。	○ I -B-1 (3)	I -B-1 (3)（改善） 継続

区分レベル	I -B-1
学科専攻名	食物栄養専攻
記載者名	友竹浩之

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
I -B-1(1)	I -B-1 (1)（計画） 学科・専攻課程の教育目的・目標が、建学の精神に基づいているか専攻内で確認する。	I -B-1 (1)（実行） 専攻教務委員が確認した。	◎	I -B-1 (1)（評価） 教育目的・目標が、建学の精神に基づいている。	I -B-1 (1)（改善） 継続して点検する。
I -B-1(2)	I -B-1 (2)（計画） 学科・専攻課程の教育目的・目標を学内外に表明できているか確認する。	I -B-1 (2)（実行） 専攻教務委員が確認した。	◎	I -B-1 (2)（評価） 教育目的・目標を学内外に表明できている。	I -B-1 (2)（改善） 継続して点検する。
I -B-1(3)	I -B-1 (3)（計画） 学科・専攻課程の教育目的・目標に基づく人材養成が地域・社会の要請に応えているかを点検するために、近隣の自治体および産業界に意見聴取する。	I -B-1 (3)（実行） 近隣の自治体および学生の就職先へのアンケート調査を実施した。	◎	I -B-1 (3)（評価） 商品開発など地域との関わりについて評価していただいた。	I -B-1 (3)（改善） 継続的に近隣の自治体・企業・施設等に点検してもらう。

区分レベル	I -B-1
学科専攻名	幼児教育学科
記載者名	青木 千恵美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
I -B-1(1)	I -B-1 (1)（計画）建学の精神に基づき、学科の教育目的、目標について点検を行う。	I -B-1 (1)（実行）R5.11月学科会にて点検している	◎	I -B-1 (1)（評価）	I -B-1 (1)（改善）継続する
I -B-1(2)	I -B-1 (2)（計画）学生便覧に記載し、HPに掲載する。	I -B-1 (2)（実行）掲載している	◎	I -B-1 (2)（評価）	I -B-1 (2)（改善）継続する
I -B-1(3)	I -B-1 (3)（計画）卒業後アンケート、および包括協定を結んでいる自治体へのアンケート調査を行う。	I -B-1 (3)（実行） R6.2月就職先への卒業後アンケートを依頼、実施している 自治体へのアンケート調査依頼を依頼、実施している	◎	I -B-1 (3)（評価）	I -B-1 (3)（改善）継続する

区分レベル	I -B-1
学科専攻名	看護学科
記載者名	鈴木 真由美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
I -B-1(1)	I -B-1 (1)（計画） 学科・専攻課程の教育目的・目標を建学の精神に基づき確立している。学科の教育目的・目標を建学の精神に基づき確立しているか確認する。	I -B-1 (1)（実行） 学科会議で確認した。	◎	I -B-1 (1)（評価） 継続に問題はない。	I -B-1 (1)（改善） 改善事項なし。
I -B-1(2)	I -B-1 (2)（計画） 学科・専攻課程の教育目的・目標を学内外に表明している。学科の教育目的・目標を学生便覧・授業概要やwebサイトに明記し、学生には新入生オリエンテーションで説明する。	I -B-1 (2)（実行） 学生便覧やwebに掲載しており、4月の新入生オリエンテーションで、学生に説明を行った。	◎	I -B-1 (2)（評価） 継続に問題はない。	I -B-1 (2)（改善） 改善事項なし。
I -B-1(3)	I -B-1 (3)（計画） (3) 学科・専攻課程の教育目的・目標に基づく人材養成が地域・社会の要請に役立っているか定期的に点検している。学科の教育目的・目標に基づく人材養成が地域・社会の要請に役立っているかについて、実習連絡会議や臨地実習において意見をいただく。	I -B-1 (3)（実行） ・3月の実習連絡会議で、臨地実習の受け入れ先となる病院の看護部長及び実習指導者に意見を頂いた。 ・臨地実習で施設に伺う際には、卒業生の状況等をお聞きしている。 ・卒業生の状況で困難・相談が生じた際には、看護部長より連絡をいただき、看護職として成長できる方法について話し合いを行った。	◎	I -B-1 (3)（評価） 継続に問題はない。	I -B-1 (3)（改善） 改善事項なし。

区分レベル	I -B-2
学科専攻名	教務委員会
記載者名	奥井 現理

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
I-B-2(1)	I-B-2 (1)（計画） 短期大学の学修成果を建学の精神に基づき定めていることを確認済(令和2年認証評価)であるが、令和5年度共学化を踏まえ適切な見直しを行う。	I-B-2 (1)（実行） 共学化をテーマにしたSD研修（8月）を経て、学修成果の確認を各学科専攻で行ったうえで、令和5年度・六年度の教育目的・目標見直しに併せて学修成果の見直しを行うこととした。	◎ ・ ○ ・ △	I-B-2 (1)（評価） 学修成果の見直しに向けた問題点の洗い出しを開始していることを確認した。	I-B-2 (1)（改善） 共学化及び建学の精神の改訂（令和五年度）を受けて、令和五年度に検討を開始していた学修成果の見直しを令和六年度において行う。
I-B-2(2)	I-B-2 (2)（計画）	I-B-2 (2)（実行）	◎ ・ ○ ・ △	I-B-2 (2)（評価）	I-B-2 (2)（改善）
I-B-2(3)	I-B-2 (3)（計画） 学修成果を学内外に表明していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する ①学内：学習便覧 ②学外：本学Webサイト	I-B-2 (3)（実行） 学修成果を学内外に表明していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続との方針を受け、継続している。	◎ ・ ○ ・ △	I-B-2 (3)（評価） 学修成果を学内外に表明していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続との方針を受け、継続していることを確認した。	I-B-2 (3)（改善） 計画をさらに変更するという意味での改善点はないが、令和六年度の教育目的・目標の見直し及び学内理解の深化によって学修成果がいかなるものであるべきかを考える基礎とする。
I-B-2(4)	I-B-2 (4)（計画） 学修成果の学校教育法の短期大学の規定に照らした定期的な点検については、教務委員会で全学科専攻の学修成果を点検していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する ※11月の教務委員会で点検する	I-B-2 (4)（実行） 学修成果の学校教育法の短期大学の規定に照らした定期的な点検については、教務委員会で全学科専攻の学修成果を点検していることを確認済(令和2年認証評価)であることを受け、今年度も引き続き実行した。	◎ ・ ○ ・ △	I-B-2 (4)（評価） 学修成果の学校教育法の短期大学の規定に照らした定期的な点検については、教務委員会で全学科専攻の学修成果を点検していることを確認済(令和2年認証評価)であることを受け、今年度も引き続き実行したことを確認した。	I-B-2 (4)（改善） 学修成果の確認については、DPおよび教育目標の見直しや点検とともに行うこととする。

区分レベル	I -B-2
学科専攻名	生活科学
記載者名	三浦 弥生

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)		ACT (改善)
I -B-2(1)	I -B-2 (1) (計画)	I -B-2 (1) (実行)	◎ ・ ○ ・ △	I -B-2 (1) (評価)	I -B-2 (1) (改善)
I -B-2(2)	I -B-2 (2) (計画) 学習成果を教育目的・目標に基づき定めている ことを確認済(令和2年認証評価より継続)	I -B-2 (2) (実行) 継続実施	◎	I -B-2 (2) (評価) 課題なく継続	I -B-2 (2) (改善) 継続
I -B-2(3)	I -B-2 (3) (計画) ①学習成果の学内表明：専攻が作成した「学修 成果ノート」を学生に配布し、入学時オリエン テーション及び前後期に渡りカリキュラムに 沿って学生に確認する（令和2年認証評価より継 続） ②学習成果の学外表明：本学Webサイトに掲示 （令和2年認証評価より継続）	I -B-2 (3) (実行) ①継続実施：シラバス通りに実施 ②継続実施	◎	I -B-2 (3) (評価) ①課題なく継続 ②課題なく継続	I -B-2 (3) (改善) ①継続 ②継続
I -B-2(4)	I -B-2 (4) (計画) 専攻会(slack)で学習成果の点検を11月までに行 い教務委員会に提出する（令和2年認証評価より 継続）	I -B-2 (4) (実行) 専攻会はslackチームからteamsチーム「生活科 学専攻教員チーム」での実施に変更 11月までに専攻会(teams)への意見はないた め、教務委員会に提出する変更もなかった	○	I -B-2 (4) (評価) 学習成果について、専攻教員間の知識・認識の 向上が必要である	I -B-2 (4) (改善) 専攻会(teams)で話題とする

区分レベル	I -B-2
学科専攻名	介護福祉専攻
記載者名	太和田 雅美

	PLAN（計画）	DO（実行）		CHECK（検証）	ACT（改善）
I -B-2(1)	I -B-2 (1)（計画） 短期大学としての学習成果を建学の精神に基づき定めているか確認する。 専攻としての建学の精神を定め、入学時に示していく。	I -B-2 (1)（実行） 専攻としての建学の精神を定め、入学時に示した。	◎	I -B-2 (1)（評価） 入学時新入生・保護者説明会	I -B-2 (1)（改善） 継続
I -B-2(2)	I -B-2 (2)（計画） 学科・専攻課程の学習成果を学科・専攻課程の教育目的・目標に基づき定めているか点検する。 各教科ごとに到達目標を定めているか授業概要で確認する。（授業概要）	I -B-2 (2)（実行） 各教科ごとに到達目標を定めているか授業概要で確認した。（授業概要）	◎	I -B-2 (2)（評価）	I -B-2 (2)（改善） 継続
I -B-2(3)	I -B-2 (3)（計画） 学習成果を学内外に表明している。 各教科ごとに到達目標を定めているか授業概要で確認する。（授業概要）	I -B-2 (3)（実行） 各教科ごとに到達目標を定めているか授業概要で確認した。（授業概要）	◎	I -B-2 (3)（評価）	I -B-2 (3)（改善） 継続
I -B-2(4)	I -B-2 (4)（計画） 学習成果を学校教育法の短期大学の規定に照らして、定期的に点検している。 11月に専攻の教育目的・目標および卒業時の到達目標との関連を点検していく。	I -B-2 (4)（実行） 11月に専攻の教育目的・目標および卒業時の到達目標との関連を点検した。	◎	I -B-2 (4)（評価）	I -B-2 (4)（改善） 継続

区分レベル	I -B-2
学科専攻名	食物栄養専攻
記載者名	友竹浩之

	PLAN（計画）	DO（実行）		CHECK（検証）	ACT（改善）
I -B-2(1)	I -B-2 (1)（計画） 短期大学としての学習成果が、建学の精神に基づいているか点検する。	I -B-2 (1)（実行） 専攻教務委員が確認した。	◎	I -B-2 (1)（評価） 学習成果は、建学の精神に基づいている。	I -B-2 (1)（改善） 継続して点検する。
I -B-2(2)	I -B-2 (2)（計画） 学科・専攻課程の学習成果が、学科・専攻課程の教育目的・目標に基づいているか点検する。	I -B-2 (2)（実行） 専攻教務委員が確認した。	◎	I -B-2 (2)（評価） 学習成果は、学科・専攻課程の教育目的・目標に基づいている。	I -B-2 (2)（改善） 継続して点検する。
I -B-2(3)	I -B-2 (3)（計画） 学生便覧への記載、Webサイトの発信等をする。	I -B-2 (3)（実行） 専攻教務委員が確認した。	◎	I -B-2 (3)（評価） 学生便覧およびWebサイトで公開されている。	I -B-2 (3)（改善） 継続して点検する。
I -B-2(4)	I -B-2 (4)（計画） 学校教育法の短期大学の規定に照らして、学修成果を点検する。	I -B-2 (4)（実行） 専攻教務委員が確認した。	○	I -B-2 (4)（評価） 学校教育法の短期大学の規定を専攻会の中で確認できなかった。	I -B-2 (4)（改善） 学校教育法の短期大学の規定について、詳細に確認する。

区分レベル	I -B-2
学科専攻名	幼児教育学科
記載者名	青木 千恵美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
I -B-2(1)	I -B-2 (1)（計画）建学の精神に基づき、学修成果の点検を行う。	I -B-2 (1)（実行）学生便覧の校正時に点検を行った。	◎	I -B-2 (1)（評価）	I -B-2 (1)（改善）継続する
I -B-2(2)	I -B-2 (2)（計画）学科の教育目的・目標に基づき、学修成果の点検を行う。	I -B-2 (2)（実行）シラバス作成時に学修成果の点検を行っている	◎	I -B-2 (2)（評価）	I -B-2 (2)（改善）継続する
I -B-2(3)	I -B-2 (3)（計画）学生便覧、授業概要に掲載する。	I -B-2 (3)（実行）学生便覧、授業概要に掲載している。		I -B-2 (3)（評価）	I -B-2 (3)（改善）継続する
I -B-2(4)	I -B-2 (4)（計画）学科会にて点検する	I -B-2 (4)（実行）令和5年11月～12月 学科会にて点検を行っている		I -B-2 (4)（評価）	I -B-2 (4)（改善）継続する

区分レベル	I -B-2
学科専攻名	看護学科
記載者名	鈴木 真由美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
I -B-2(1)	I -B-2 (1)（計画）（1）短期大学としての学習成果を建学の精神に基づき定めている。 学科教務委員会を中心に、各系代表者会議で確認する。	I -B-2 (1)（実行） 学科教務委員会を中心に、各系代表者会議で確認した。	◎	I -B-2 (1)（評価） 継続に問題はない。	I -B-2 (1)（改善） 改善事項なし。
I -B-2(2)	I -B-2 (2)（計画）（2）学科・専攻課程の学習成果を学科・専攻課程の教育目的・目標に基づき定めている。 学科の学習成果を学科の教育目的・目標に基づき定めているか点検する。	I -B-2 (2)（実行） 学科会議で確認した。	◎	I -B-2 (2)（評価） 継続に問題はない。	I -B-2 (2)（改善） 改善事項なし。
I -B-2(3)	I -B-2 (3)（計画）（3）学習成果を学内外に表明している。 学科の学習成果を学生便覧・授業概要やwebサイトに明記し、学内外に表明する。	I -B-2 (3)（実行） 学生便覧・授業概要、webサイトに学習成果を示しており、学生に対してはオリエンテーションの際に説明した。	◎	I -B-2 (3)（評価） 継続に問題はない。	I -B-2 (3)（改善） 改善事項なし。
I -B-2(4)	I -B-2 (4)（計画）（4）学習成果を学校教育法の短期大学の規定に照らして、定期的に点検している。 学習成果を学校教育法の短期大学の規定に照らして、定期的に点検する。	I -B-2 (4)（実行） 資格に関わる法令等の改正がないか確認し、点検した。	◎	I -B-2 (4)（評価） 継続に問題はない。	I -B-2 (4)（改善） 改善事項なし。

区分レベル	I -B-3
学科専攻名	教務委員会
記載者名	奥井 現理

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）	ACT（改善）
I -B-3(1)	I -B-3 (1)（計画） 三つの方針を関連付けて一体的に定めていることは確認済(令和2年認証評価)であり継続する	I -B-3 (1)（実行） 三つの方針が関連付けられ一体的に定められたと確認されたことを受けて、継続した。	◎ ・ ○ ・ △	I -B-3 (1)（評価） 三つの方針が関連付けられ一体的に定められたと確認されたことを受けて、継続されていることを確認した。 I -B-3 (1)（改善） 令和五年度の建学の精神改訂を受けて令和六年度に三つの方針を見直す、それらの関連性・一体性は保持するものとする。
I -B-3(2)	I -B-3 (2)（計画） 三つの方針を組織的に議論を重ねて策定していることは確認済(令和2年認証評価)であり継続する ※11月の教務委員会で本学及び各学科専攻の三つの方針を議論する	I -B-3 (2)（実行） 三つの方針が関連付けられ一体的に定められたと確認されたことを受けて、各学科専攻の議論を経て12月委員会において継続を確認した。	◎ ・ ○ ・ △	I -B-3 (2)（評価） 三つの方針の継続確認および令和六年度の見直し方針を確認した。 I -B-3 (2)（改善） 令和六年度に三つの方針を見直す、それらの関連性・一体性は保持するものとし、組織的にそれを行うものとする。
I -B-3(3)	I -B-3 (3)（計画） 三つの方針を踏まえた教育活動を行っていることは確認済(令和2年認証評価)であり、教務委員会においてその確認を継続する ※特に11月の教務委員会で三つの方針を踏まえた教育活動を確認する	I -B-3 (3)（実行） 三つの方針が関連付けられ一体的に定められそれにもとづく教育活動を行っていることを確認されたことを受けて、継続した。建学の精神改訂を受けて令和六年度に教育目的・目標の見直しを行うことを示している。そのため、DPを中心に見直しが図られる見込みである。	◎ ・ ○ ・ △	I -B-3 (3)（評価） 三つの方針の継続確認および令和六年度の見直し方針を確認、その際にそれらに基づく教育活動が行われていることを確認した。 I -B-3 (3)（改善） 令和六年度に三つの方針を見直す、それらにもとづく教育活動の見直しを開始する。
I -B-3(4)	I -B-3 (4)（計画） 三つの方針を学内外に表明していることは確認済(令和2年認証評価)であり継続する ①学内：学生便覧 ②学外：本学Webサイト	I -B-3 (4)（実行） 三つの方針を学内外に表明していることは確認済(令和2年認証評価)であり継続した。	◎ ・ ○ ・ △	I -B-3 (4)（評価） 三つの方針を学内外に表明していることは確認済(令和2年認証評価)であり継続したことを確認した。 I -B-3 (4)（改善） 三つの方針を学内外に表明していることは確認済(令和2年認証評価)であり継続する ①学内：学生便覧 ②学外：本学Webサイト なお、見直しした結果は速やかに反映する。

区分レベル	I -B-3
学科専攻名	生活科学
記載者名	三浦 弥生

	PLAN（計画）	DO（実行）		CHECK（検証）	ACT（改善）
I -B-3(1)	I -B-3 (1)（計画） 三つの方針を関連付けて一体的に定めていることを確認済(令和2年認証評価より継続)	I -B-3 (1)（実行） 継続実施	◎	I -B-3 (1)（評価） 課題なく継続	I -B-3 (1)（改善） 継続
I -B-3(2)	I -B-3 (2)（計画） 専攻会(slack)で11月までに三つの方針を協議する(令和2年度認証評価より継続)	I -B-3 (2)（実行） 専攻会はslackチームからteamsチーム「生活科学専攻教員チーム」での実施に変更 専攻名変更に伴い、今年度より三つの方針の文言中にある「家政学」を「生活科学」に変更した 11月までに専攻会(teams) への意見はないため、教務委員会に提出する変更もなかった	◎	I -B-3 (2)（評価） 課題なく継続	I -B-3 (2)（改善） 継続
I -B-3(3)	I -B-3 (3)（計画） 三つの方針を踏まえた教育活動実施について専攻主任が専攻科目の「学習成果の評価」で確認をする(令和2年度認証評価より継続)	I -B-3 (3)（実行） 継続実施及び専攻教員も「学習成果の評価」で確認している	◎	I -B-3 (3)（評価） 専攻全体で専攻科目の「学習成果の評価」で確認をしていくことが望ましい	I -B-3 (3)（改善） 専攻主任及び専攻教員が専攻科目の「学習成果の評価」で確認をしていく
I -B-3(4)	I -B-3 (4)（計画） ①三つの方針の学内表明：専攻が作成した「学習成果ノート」を学生に配布し、入学時オリエンテーション及び前後期に渡りカリキュラムに沿って学生に確認する（令和2年認証評価より継続） ②三つの方針の学外表明：本学Webサイトに掲示（令和2年認証評価より継続）	I -B-3 (4)（実行） ①継続実施：シラバス通りに実施 ②継続実施	◎	I -B-3 (4)（評価） 課題なく継続	I -B-3 (4)（改善） 継続

区分レベル	I -B-3
学科専攻名	介護福祉専攻
記載者名	太和田 雅美

	PLAN（計画）	DO（実行）		CHECK（検証）	ACT（改善）
I -B-3(1)	I -B-3 (1)（計画）三つの方針を関連付けて一 体的に定めているか点検する。 三つの方針を関連付けているのか専攻会で点検 する。	I -B-3 (1)（実行） 三つの方針を関連付けているのか専攻会で点検 できた。	◎	I -B-3 (1)（評価）	I -B-3 (1)（改善） 継続
I -B-3(2)	I -B-3 (2)（計画）三つの方針を組織的議論を 重ねて策定しているか点検する。 11月末までに専攻会を行い、三つの方針につい て議論していく。	I -B-3 (2)（実行） 11月末までに専攻会を行い、三つの方針につい て議論していく。	◎	I -B-3 (2)（評価）	I -B-3 (2)（改善） 継続
I -B-3(3)	I -B-3 (3)（計画）三つの方針を踏まえた教育 活動を行っているか点検する。 DPに対する評価を11月末までに行い、次年度の カリキュラムの検討を行っていく。	I -B-3 (3)（実行） 11月末までに専攻会を行い、三つの方針につい て議論できた。	◎	I -B-3 (3)（評価）	I -B-3 (3)（改善） 継続
I -B-3(4)	I -B-3 (4)（計画）三つの方針を学内外に表明 している。 学校案内・学生便覧・ホームページで表明して いく。	I -B-3 (4)（実行） 学校案内・学生便覧・ホームページで表明し た。	◎	I -B-3 (4)（評価）	I -B-3 (4)（改善） 継続

区分レベル	I -B-3
学科専攻名	食物栄養専攻
記載者名	友竹浩之

	PLAN（計画）	DO（実行）		CHECK（検証）	ACT（改善）
I -B-3(1)	I -B-3 (1)（計画） 三つ方針の関連について点検する。	I -B-3 (1)（実行） 専攻教務委員が点検した。	◎	I -B-3 (1)（評価） 三つ方針は関連づけて定められている。	I -B-3 (1)（改善） 継続して点検する
I -B-3(2)	I -B-3 (2)（計画） 三つの方針を再確認する。	I -B-3 (2)（実行） 専攻教務委員が点検した。	○	I -B-3 (2)（評価） 専攻内で組織的に確認する必要がある。	I -B-3 (2)（改善） 専攻教員全員で確認する。
I -B-3(3)	I -B-3 (3)（計画） 三つの方針を踏まえた教育活動を行っているか点検する。	I -B-3 (3)（実行） 専攻教務委員が点検した。	◎	I -B-3 (3)（評価） 専攻教員全員が各自で点検する必要がある。	I -B-3 (3)（改善） 専攻教員全員が各自で点検する
I -B-3(4)	I -B-3 (4)（計画） 学校案内、学生便覧、Webサイトをとおして公表する。	I -B-3 (4)（実行） 専攻教務委員が公表しているかどうか点検した。	◎	I -B-3 (4)（評価） 学校案内、学生便覧、Webサイトをとおして公表している。	I -B-3 (4)（改善） 継続して点検する。

区分レベル	I -B-3
学科専攻名	幼児教育学科
記載者名	青木 千恵美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
I -B-3(1)	I -B-3 (1)（計画） 3つの方針（AP,CP,DP）について、関連付けられているか、確認する。	I -B-3 (1)（実行） R5.11月学科会において確認している	◎	I -B-3 (1)（評価）	I -B-3 (1)（改善）継続する
I -B-3(2)	I -B-3 (2)（計画） 学科会において、確認する。	I -B-3 (2)（実行） R5.11月学科会において確認している	◎	I -B-3 (2)（評価）	I -B-3 (2)（改善）継続する
I -B-3(3)	I -B-3 (3)（計画） AP,CP,DPの理解のもとに、授業等教育活動を行う。	I -B-3 (3)（実行） AP,CP,DPの理解のもとに、授業等教育活動を行っている。	◎	I -B-3 (3)（評価）	I -B-3 (3)（改善）継続する
I -B-3(4)	I -B-3 (4)（計画） AP,CP,DPについて学生便覧、授業概要に記載する。APについては、学校案内に記載し、オープンキャンパス等において説明する。	I -B-3 (4)（実行） AP,CP,DPについては、学生便覧、授業概要に記載した。APについては、学校案内に記載し、オープンキャンパス等において説明している。	◎	I -B-3 (4)（評価）	I -B-3 (4)（改善）継続する

区分レベル	I -B-3
学科専攻名	看護学科
記載者名	鈴木 真由美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）	ACT（改善）
I -B-3(1)	I -B-3 (1)（計画）（1）三つの方針を関連付けて一体的に定めている。 三つの方針を関連付けて一体的に定めているか確認する。	I -B-3 (1)（実行） 学科会議で確認した。	◎ I -B-3 (1)（評価） 継続に問題はない。	I -B-3 (1)（改善） 改善事項なし。
I -B-3(2)	I -B-3 (2)（計画）（2）三つの方針を組織的議論を重ねて策定している。 三つの方針を現状に見合うものか点検するとともに、三つの方針が連動したものであるか確認する。	I -B-3 (2)（実行） 学科会議で確認した。	◎ I -B-3 (2)（評価） 継続に問題はない。	I -B-3 (2)（改善） 改善事項なし。
I -B-3(3)	I -B-3 (3)（計画）（3）三つの方針を踏まえた教育活動を行っている。 DPを達成するために構成したCPをカリキュラムマップに示し、それを意識した授業を行うことで三つの方針を踏まえた教育活動を行う。	I -B-3 (3)（実行） 三つの方針を踏まえて、講義・演習・臨地実習、発願式などの学科行事を展開した。	◎ I -B-3 (3)（評価） 継続に問題はない。	I -B-3 (3)（改善） 改善事項なし。
I -B-3(4)	I -B-3 (4)（計画）（4）三つの方針を学内外に表明している。 三つの方針を学生便覧・授業概要やwebサイトに明記し、学生には入学時に説明を行う。	I -B-3 (4)（実行） 三つの方針は、学生便覧・授業概要、webサイトに明記されており、学生には入学時に説明を行った。	◎ I -B-3 (4)（評価） 継続に問題はない。	I -B-3 (4)（改善） 改善事項なし。

区分レベル	I -C-1
学科専攻名	副学長、学務部長
記載者名	武分 様子

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）	ACT（改善）
I -C-1(1)	I -C-1 (1)自己点検・評価のための規程及び組織を整備している。 （計画）規程を整備し、規程に基づき、委員会を組織・運営し定期的に開催する。	I -C-1 (1)（実行）規程を確認しつつ、規程に基づき委員会は組織できた。委員会の開催については間隔が空き回数が限定されてしまった。	△ I -C-1 (1)（検証）令和5年度自己点検評価委員会議事録	I -C-1 (1)（改善）スケジュールを調整・確認して定期的に委員会を開催する。
I -C-1(2)	I -C-1 (2)定期的に自己点検・評価を行っている。 （計画）各学科・専攻、各部署の現状や課題、改善計画の進行状況についてPDCAサイクルが確実に回っているかを毎年確認する。	I -C-1 (2)（実行）各部署で学科会や専攻会において定期的に点検できた。	◎ I -C-1 (2)（検証）令和5年度学科会・専攻会・委員会議事録	I -C-1 (2)（改善）
I -C-1(3)	I -C-1 (3)定期的に自己点検・評価報告書等を公表している。 （計画）毎年確認した結果を「白書」としてまとめ、全教職員に配信するとともにWebサイトにも公表している。	I -C-1 (3)（実行）令和5年度は自己点検報告書（PDCAシート）としてまとめ、ファイル及びホームページに配信した。	◎ I -C-1 (3)（検証）令和5年度自己点検・評価報告書（ファイル、ホームページ）	I -C-1 (3)（改善）
I -C-1(4)	I -C-1 (4)自己点検・評価活動に全教職員が関与している。 （計画）各学科・専攻、各部署において、一人ひとりが現状や課題、改善計画の進行状況について検討を行う。	I -C-1 (4)（実行）各部署で学科会や専攻会において定期的に点検し、検討できた。	◎ I -C-1 (4)（検証）令和5年度学科会・専攻会・委員会議事録	I -C-1 (4)（改善）
I -C-1(5)	I -C-1 (5)自己点検・評価活動に高等学校等の関係者の意見聴取を取り入れている。 （計画）高校を対象とした連絡懇談会や姉妹校との連絡懇談会を開催し、本学に対する意見や要望を聞く。	I -C-1 (5)（実行）5月に姉妹校へ出向き意見を聴取した。さらに高校ガイダンス等を通じて意見聴取することで、そこでの意見や要望を自己点検・評価活動に活かしている。ただし、腰部を確実に活かすには課題がある。	○ I -C-1 (5)（検証）連絡懇談会及各ガイダンス記録	I -C-1 (5)（改善）意見聴取の内容を自己点検・評価活動により結びつけられるよう意識し、自己点検・評価委員会での議事に反映する確実な手立てを検討する。
I -C-1(6)	I -C-1 (6)自己点検・評価の結果を改革・改善に活用している。 （計画）毎年確認した結果を、各学科・専攻、各部署において確認し、授業や学生指導、地域貢献の見直しに反映する。	I -C-1 (6)（実行）令和5年度の結果は各部署において会議等で確認・共有して、各教職員が見直しに役立てた。	◎ I -C-1 (6)（実行）令和5年度学科会・専攻会・委員会議事録	I -C-1 (6)（改善）

区分レベル	I -C-2
学科専攻名	教務委員会
記載者名	奥井 現理

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）	ACT（改善）
I -C-2(1)	I -C-2 (1)（計画） ①各学科専攻の学修成果及び授業改善アンケート結果を学科長及び専攻主任、基礎教養主任が査定する ②授業改善アンケート実施及び結果の時期を見直し、年度内に前・後期の学修成果評価ができるようにする	I -C-2 (1)（実行） ①各学科専攻の学修成果及び授業改善アンケート結果を学科長及び専攻主任、基礎教養主任が査定した ②授業改善アンケート実施及び結果の時期を見直し、年度内に前・後期の学修成果評価ができるようにした	◎ ・ ○ △ I -C-2 (1)（評価） ①各学科専攻の学修成果及び授業改善アンケート結果を学科長及び専攻主任、基礎教養主任が査定したことを確認した ・ ②授業改善アンケート実施及び結果の時期を見直し、年度内に前・後期の学修成果評価ができるようにしたことを確認した	I -C-2 (1)（改善） ①各学科専攻の学修成果及び授業改善アンケート結果を学科長及び専攻主任、基礎教養主任が査定する体制を継続する。 ②授業改善アンケート実施及び結果の時期を見直し、年度内に前・後期の学修成果評価ができる体制を継続する。
I -C-2(2)	I -C-2 (2)（計画） 教育の質を保証するための査定の手法（各学科専攻の学修成果等）を教務委員会で点検する	I -C-2 (2)（実行） 教育の質を保証するための査定の手法（各学科専攻の学修成果等）を教務委員会で点検した。	◎ ・ ○ ・ △ I -C-2 (2)（評価） 教育の質を保証するための査定の手法（各学科専攻の学修成果等）を教務委員会で点検したことを確認した。	I -C-2 (2)（改善） 教育の質を保証するための査定の手法（各学科専攻の学修成果等）を教務委員会で点検する体制を継続する。
I -C-2(3)	I -C-2 (3)（計画） 教育の向上・充実のためのPDCAサイクルを活用する ※P：学修成果の提示 D：教育活動の実施(授業等) C：学修成果評価の実施 A：学科専攻会及び教務委員会での協議・点検の実施を行う	I -C-2 (3)（実行） 教育の向上・充実のためのPDCAサイクルを活用した ※P：学修成果の提示 D：教育活動の実施(授業等) C：学修成果評価の実施 A：学科専攻会及び教務委員会での協議・点検の実施を行った	◎ ・ ○ ・ △ I -C-2 (3)（評価） 教育の向上・充実のためのPDCAサイクルを活用したことを確認した ・ ※P：学修成果の提示 D：教育活動の実施(授業等) C：学修成果評価の実施 A：学科専攻会及び教務委員会での協議・点検の実施を行う	I -C-2 (3)（改善） 教育の向上・充実のためのPDCAサイクルを活用することを継続する ※P：学修成果の提示 D：教育活動の実施(授業等) C：学修成果評価の実施 A：学科専攻会及び教務委員会での協議・点検の実施を行う
I -C-2(4)	I -C-2 (4)（計画） 関連法規の変更などを確認し法令を遵守する	I -C-2 (4)（実行） 関連法規の変更などを確認し法令を遵守した	◎ ・ ○ ・ △ I -C-2 (4)（評価） 関連法規の変更などを確認し法令を遵守したことを確認した。	I -C-2 (4)（改善） 関連法規の変更などを確認し法令を遵守することを継続する。

区分レベル	I -C-2
学科専攻名	生活科学
記載者名	三浦 弥生

	PLAN（計画）	DO（実行）		CHECK（検証）	ACT（改善）
I -C-2(1)	I -C-2 (1)（計画） 学習成果を焦点とする査定手法として専攻教員の全科目の「学修成果評価表」及び「授業改善アンケート結果」を専攻主任が査定し結果を教務委員会に報告する（令和3年自己点検より継続）	I -C-2 (1)（実行） 各教員が直接FD委員長に提出、まとめられた学修成果が教務委員会より専攻主任に提出され、専攻主任が確認を行った	◎	I -C-2 (1)（評価） 専攻主任が専攻教員の全科目の学修成果を確認することができた	I -C-2 (1)（改善） 継続
I -C-2(2)	I -C-2 (2)（計画） 学習成果を査定する手法（専攻教員の全科目の「学修成果評価表」及び「授業改善アンケート結果」を専攻主任が査定し結果を教務委員会に報告）を専攻会で点検する	I -C-2 (2)（実行） 各教員が直接FD委員長に提出、まとめられた学修成果が教務委員会より専攻主任に提出され、専攻主任が点検を行った	○	I -C-2 (2)（評価） 専攻主任の点検に留まり、専攻会での点検は行わなかった	I -C-2 (2)（改善） 専攻主任の点検にとどめず専攻会(teams)でも点検する
I -C-2(3)	I -C-2 (3)（計画） 教育の向上・充実のためのPDCAサイクル活用として、専攻教員は担当授業科目の「学修成果評価」を行う	I -C-2 (3)（実行） 継続実施：各教員は学修成果評価の記載、提出を行った	◎	I -C-2 (3)（評価） 課題なく継続	I -C-2 (3)（改善） 継続
I -C-2(4)	I -C-2 (4)（計画） 関係法令の変更などを確認し、法令を遵守する（令和2年度認証評価より継続）	I -C-2 (4)（実行） 継続実施	◎	I -C-2 (4)（評価） 法令を違反するような案件は発生せず	I -C-2 (4)（改善） 継続

区分レベル	I -C-2
学科専攻名	介護福祉専攻
記載者名	太和田 雅美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
I -C-2(1)	I -C-2 (1)（計画）自己点検・評価のための規程及び組織を整備している。 専攻教員の全教科の「学習正解評価表」及び「授業改善アンケート」で評価する。	I -C-2 (1)（実行） 専攻教員の全科目の「学修成果評価表」及び「授業改善アンケート結果」を専攻主任が査定し結果を教務委員会に報告した	◎	I -C-2 (1)（評価）	I -C-2 (1)（改善） 継続
I -C-2(2)	I -C-2 (2)（計画）定期的に自己点検・評価を行っている。 11月に定期点検を行っていく	I -C-2 (2)（実行） 1 1 月に定期点検を行った。	◎	I -C-2 (2)（評価）	I -C-2 (2)（改善） 継続
I -C-2(3)	I -C-2 (3)（計画）定期的に自己点検・評価報告書等を公表している。 学内の自己点検に合わせて公表していく。	I -C-2 (3)（実行） 学内の自己点検に合わせて公表した。	◎	I -C-2 (3)（評価）	I -C-2 (3)（改善） 継続
I -C-2(4)	I -C-2 (4)（計画）自己点検・評価活動に全教職員が関与している。 専攻教員で自己点検を行って行く。	I -C-2 (4)（実行） 介護福祉士養成学校の基準にのっとり法令を遵守した。	◎	I -C-2 (4)（評価）	I -C-2 (4)（改善） 継続

区分レベル	I -C-2
学科専攻名	食物栄養専攻
記載者名	友竹浩之

	PLAN（計画）	DO（実行）		CHECK（検証）	ACT（改善）
I -C-2(1)	I -C-2 (1)（計画） 学修成果を確認するためにルーブリックを活用する。	I -C-2 (1)（実行） 専攻教務委員がルーブリックを活用して学生の学習成果を確認した。	○	I -C-2 (1)（評価） 実施時期と回数を検討する必要がある。	I -C-2 (1)（改善） ルーブリックの実施時期と回数を検討する。
I -C-2(2)	I -C-2 (2)（計画） ルーブリックの内容について点検を行う。	I -C-2 (2)（実行） 専攻教務委員が内容を点検した。	△	I -C-2 (2)（評価） ルーブリックの内容について一部修正が必要である。	I -C-2 (2)（改善） 学習成果が確認しやすいように内容を改善する。
I -C-2(3)	I -C-2 (3)（計画） 教育の向上・充実のためのPDCAサイクルのために授業改善アンケートやルーブリックを活用する。	授業改善アンケートは各科目ごと、ルーブリックは年度末に実施した。	△	I -C-2 (3)（評価） 授業改善アンケートをツールとして、PDCAサイクルは進められている。ルーブリックを活用しやすくする必要がある。	I -C-2 (3)（改善） ルーブリックの活用方法を検討する。
I -C-2(4)	I -C-2 (4)（計画） 栄養士養成施設の設置基準について専攻内で確認する。	I -C-2 (4)（実行） 専攻教務委員が確認した。	◎	I -C-2 (4)（評価） 設置基準について専攻教員全員で確認できた。	I -C-2 (4)（改善） 引き続き専攻内で基準を確認する。

区分レベル	I -C-2
学科専攻名	看護学科
記載者名	鈴木 真由美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
I -C-2(1)	I -C-2 (1)（計画）（1）学習成果を焦点とする 査定（アセスメント）の手法を有している。 学科のアセスメントポリシーを毎年点検する。	I -C-2 (1)（実行） 学科会議で確認した。	◎	I -C-2 (1)（評価） 継続に問題はない。	I -C-2 (1)（改善） 改善事項なし。
I -C-2(2)	I -C-2 (2)（計画）（2）査定の手法を定期的に 点検している。 学科のアセスメントポリシーを毎年点検する。	I -C-2 (2)（実行） 学科会議で確認した。	◎	I -C-2 (2)（評価） 継続に問題はない。	I -C-2 (2)（改善） 改善事項なし。
I -C-2(3)	I -C-2 (3)（計画）（3）教育の向上・充実のため のPDCAサイクルを活用している。 授業改善アンケートの結果を用いて、教育の向上・ 充実のためのPDCAサイクルを活用する。	I -C-2 (3)（実行） 学科長と学科教務委員でアンケート結果を確認し、 問題点があるかチェックし、その結果を授業内容に反 映させた。	◎	I -C-2 (3)（評価） 全体的に回答率が低い点が課題である。	I -C-2 (3)（改善） 妥当な検証ができるよう、回答率が向上する方法を 検討する。
I -C-2(4)	I -C-2 (4)（計画）（4）学校教育法、短期大学 設置基準等の関係法令の変更などを確認し、法令を 遵守している。 学校教育法、短期大学設置基準等の関係法令の 変更等を確認し、変更時は対応をおこなう。	I -C-2 (4)（実行） 1月に実習施設の変更及び実習内容の一部変更があり、 承認申請と変更届の提出を行った。承認された。	◎	I -C-2 (4)（評価） 継続に問題はない。	I -C-2 (4)（改善） 改善事項なし。